

明るく元気の出る町

平成5年5月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 東由利町

1993

5

NO.458

はじまり

春は農作業のはじまり

そして高校卒業と同時に就農した

伊東賢悟くん(島)も社会人のはじまり

はい!! 役場です……………4～5

密着取材 / 東光苑の一日…………6～7

東由利トピックス……………10～11

みんな集まれ / タウン広場…14～15





昭和四十五年に米の生産調整が始まり、減産政策がスタート。しかし平成四年度には政府米の不足から「復田」が始まりました。また野菜は契約栽培が定着しつつあり、農家も意欲満々。一つの転換期を迎える東由利農業をレポートします。

【写真 子供たちも興味をもってお手伝い】

米 適地適品種で農業を守る

自主流通米の過剰、政府米や他用途利用米の不足などから、平成四年度は町とJAが協力して「それぞれの地区に応じた品種を作付けして、政府米や他用途利用米の量を確保しよう」とする指導が行われました。

またこれによる自主流通米、政府米、他用途利用米の価格差は農家個々の互助制度により実施することで解消されました。

一方、農業団体ではササニシキ、あきたこまちなどの銘柄米の作付け制限を取り決めました。この取り決めには①あきたこまちが自主流通米として大量に市場に出ると価値観が低下すること②一物一価と言われる米の値段が、今や一品種の米が自主流通米、政府米、他用途利用米といった一物三価の状態になっており、それぞれの制度に向い

た米を作付けする必要があること③加工用の米の不足は米の輸入自由化を直接引き起こす恐れがあり、他用途利用米の量的確保が必要なこと、といった背景があります。このため銘柄米作付けから、政府米、他用途利用米用に作り易く、そして安定した収量を確保しやすい品種を選定することが必要になってきます。

また、転作田を復元した水田にも政府米用の米を作付けすることが指導されています。このため町では転作田の復元のための経費の補助制度を平成五年度に行うことにしています。

今、稲作は農家個々が自由に作付けする時代から、適地適品種で日本農業を守る時代になってきています。

米・野菜ともに

一つの転換期を迎え

東由利農業を考える

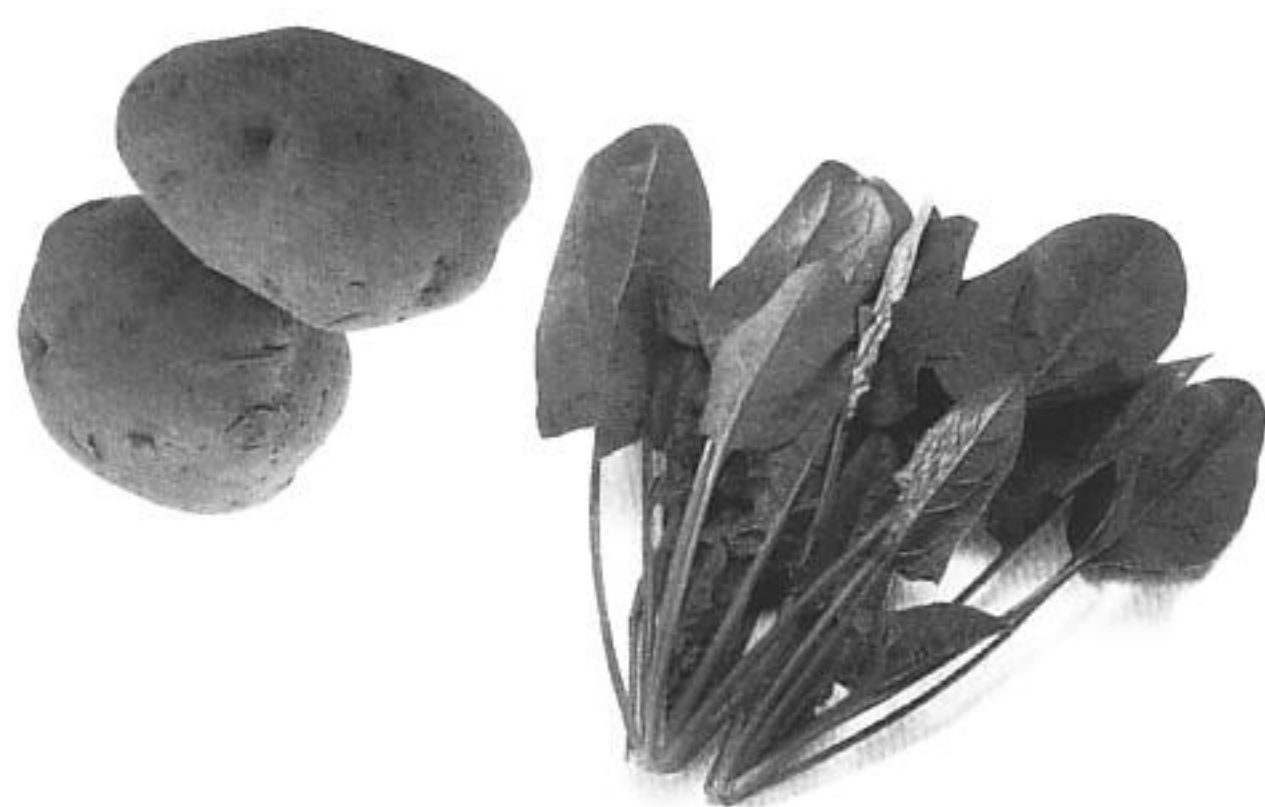


米は量の確保が課題

野菜 粘り強い努力に期待

野菜等の生産振興を図り、生産者どうしの情報交換を活発にしよう」と昭和六十年に野菜振興会が設立されました。以後いろいろな作物に取り組み、野菜生産の振興に具体的な方策を見いだしています。平成三年度からは、同会を中心に馬鈴薯、サヤインゲンが神奈川生協との契約栽培を開始。平成四年度には馬鈴薯の生産農家が七十五戸、販売額が千六十万円、サヤインゲンの生産農家が四十戸、販売額九百七十万円と順調に推移しています。当面の目標である「一作目一千万円」をクリアする作目の誕生に関係者も喜んでいます。

また、町では平成三年度に農業後継者の育成と町の特性にあった野菜栽培



を検討するため実験農場を設置しました。現在四棟のハウスが設置されており、一棟が冬期作物試作センター、三棟が後継者用試作センターとして利用されています。今年度は花き栽培を通しての新しい農産物の開発と試作も検討されています。

野菜栽培は天候や市場の動向などで価格が左右されることから、産地として確立するまでは農家の粘り強い努力と、町、JAが一体となった支援体制の充実が必要です。

機械、施設の一層の整備を

藤澤畑作振興指導員



実験農場で忙しい毎日 藤澤指導員

「あきたこまちと由利牛の里」の名のとおり米プラス畜産という農業が確立されています。それに野菜や花きが労働力の範囲内で行われているのが東由利町の現状ではないかと思っています。

野菜栽培には気象条件が大きく影響しますが、本町の場合夏が涼しいので馬鈴薯、サヤインゲン、ホウレン草といった露地野菜が適しています。さらに畜産の町ということもあり、堆肥を

たくさん使うことができ、品質の良い野菜が多く収穫できるというメリットもあります。しかし、農家個々の規模が小さいため、町の補助などを有効に利用して、機械、施設の整備を図ることにより、一層野菜栽培が盛んになるのではないかと考えます。

野菜栽培の喜びは

「あたたつた」とき

野菜振興会長
金子拓雄さん

今年は、水田五割、メロン二十割、馬鈴薯二十割、秋キャベツ二十割の作付けを計画しています。転作の緩和と労働力の不足などから、野菜は品種を絞って作ることにしました。

東由利の野菜は、契約栽培の馬鈴薯、サヤインゲンをはじめ、ミニトマト、ホウレン草などが定着しています。逆にスイートコーン、大根、京ブキなどが落ち込んでいます。

野菜は現金化が早いのが特徴で、



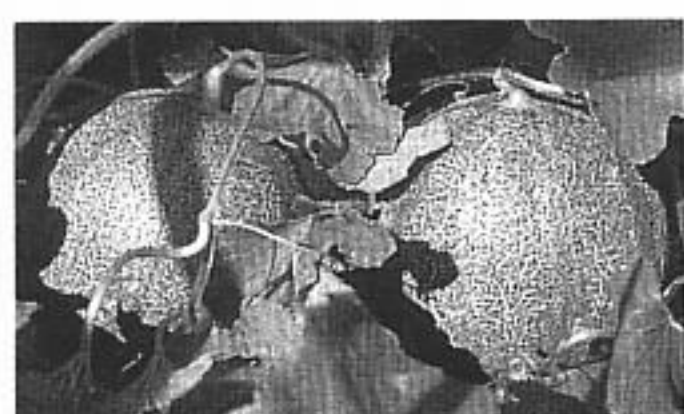
農作業に忙しい毎日の金子拓雄さん。

野菜づくりは市場の動向がカギ



特にサヤインゲンはお年寄りの栽培に向いており、孫に物を買ってあげる貴重な資金源になっているようです。

野菜栽培は、天候や市場の動向などに大きく左右されることから、短期間で軌道に乗るのが難しく、農家に定着しにくいようです。また「あきたこまちと由利牛の里」の看板を掲げている本町の場合はどうしても米と畜産という農家が多く、野菜は二の次になっています。でも野菜を栽培して一番の喜びはなんといっても「あたたつた」時。それまで苦勞して来た事をすべて忘れてしまうくらいの喜びです。東由利の人にもこの喜びを体験すれば、野菜栽培も大きく変わっていくと思います。



はい!!
役場です

今月は農作業が最も忙しい時期。

役場からのホットな話題と併せて、農家の
方々に知ってほしい補助事業を紹介します。

町営住宅が完成



完成した町営住宅

3戸に入居

町の目玉事業である町営住宅六戸は、五世帯から申し込みがあり、このうち三世帯が四月に入居しました。

町では今後、道路整備や境界のブロック設置などの外溝工事を行う予定です。

阿部寅静氏が 総務庁長官表彰



表彰を受ける阿部氏

三月三十一日付けで行政相談員を退任された蔵の阿部寅静氏（七十八歳）が顕著な業績をたたえられ、国務大臣総務庁長官から表彰されました。阿部氏は昭和四十六年四月同相談員に委嘱されて以来二十二年の長きにわたり行政機関への苦情や要望など住民からの相談窓口として活動を続けてきました。表彰状は秋田行政監察事務所の鈴木所長から贈られました。

行政相談員に 畠山昭雄さん



畠山昭雄さん

行政相談員の任期満了に伴い、四月一日付けで、国務大臣総務庁長官から東由利町担当の行政相談員として、蔵の畠山昭雄さん（五十六歳）が新しく委嘱されました。任期は平成七年三月三十一日までです。

行政相談員は、行政に対する苦情や意見・要望等の相談に応じ、その解決や改善を促進するボランティアです。相談は無料で、秘密を守りますので、お気軽にご相談ください。



順調に工事が進む「げんき館」

全天候型多目的 運動広場の愛称

「げんき館」 に決定



阿部 泉さん

台山に建設中の全天候型多目的運動広場の愛称募集を広報三月号で行った結果、二十八人の方から七十四点の応募がありました。

これを受けて町では四月十

九日に審査会を行い「げんき館」に決定しました。

げんき館の応募者は阿部泉さん（蔵新田・十三歳）。決定の知らせを聞いた泉さんは「屋内で元気に遊べたらいいな」と思い応募した。完成したらいろいろなスポーツに利用したい」と話しています。

知っていると 便利な補助制度

(農業編)



五月は農作業の最盛期。そこで今月は農家の方が知っていると便利な補助制度を紹介しましょう。

① 水田復元対策 事業費補助金

転作の緩和により、転作田を水田に復元する経費を補助します。補助金は十ア当たり五千円です。ただし次の事項に該等しなければなりません。

- 一、平成四年度以前に転作を実施していた水田であること
- 二、復元後に作付けする品種は、政府米、他用途利用米として出荷する品種で、あきたこまち、ササニシキ以外の品種であること。
- 三、農家からの申請があること。

と。(申請がない場合は、要件を満たしていても補助金は交付されません。)

② 産業道路整備 事業費補助金

四、九月末日まで申請すること。

農道、牧道などを利用組合等で自主的に整備するとき、事業費の一部を補助します。

希望する組合では六月三十日まで、産業課振興係に計画書を提出してください。

補助の内容は次のとおりです。

- 一、改良、舗装の場合は七十坪以内の補助
- 二、維持補修の場合は五十坪以内の補助

③ 農業後継者管外 研修費補助金

農業後継者や農業青年が農業技術や知識を得るため、三人以上で行う町外研修に対して一人一万四千円以内を補助します。

また農業後継者が公的研修施設(農業試験場等)で知識や技術を習得するための研修を行った場合、一人月額二万円以内を補助します。

このほかにも、畑作、畜産などの補助事業がたくさんあります。有効に利用してください。詳しくは役場産業課まで。

結果の出る農業振興を目指す

「東由利町の産業基盤は農業である」

というの昔も今も変わりのない事です。この農業の農家所得に占める割合は低下していることも事実であります。東由利町の純生産額は九十億から百億と言われていますが、このうち農業が占める割合は十五から二十と云われています。「あきたこまちと由利牛の里」を標榜するわが町でさえこのような状況下にあるとあり、県全体を考えるとこの割合はもっと低下

すると思われま。

これを農業の衰退ととらえるのか、経済の発展ととらえるかは難しいところですが、冒頭で述べたように本町の産業基盤は昔も今も農業にほかならないものであり、農業振興を最重点施策の一つに掲げています。

今、本町農業の中身をみると大変充実しています。全県一を誇る子牛販売頭数、高い評価を得ている「あきたこまち」、そして花や野菜生産に積極的に取り組む若者が増えていることは大変頼もしいことであります。

「農業振興」と言うのは簡単ですが、

結果が出ないと何もうらないのであります。今までの施策を大切にしながらも、常に見直し検討を重ね、現場であるJA東由利と連携しながら結果の出る農業施策を展開して参ります。

肥育の問題、「あきたこまち」のさらなる評価、特産的畑作の振興、農業後継者問題など、課題はたくさんありますが、町、JA、農家の三位一体で取り組み、より充実した東由利農業を作り上げるべく頑張らなければと考えるものです。

町長 阿部 幸悦
日 記

東光苑の1日

オープンして7周年

昭和六十一年四月にオープンした特別養護老人ホーム東光苑は、今年四月で七周年を迎えました。現在五十名の入居者と三十六名のスタッフで運営されています。

夏まつり、文化祭の二大行事のほか、毎月一回の誕生会、それぞれの季節に応じた行事が実施されています。

同苑では「和顔、慈視、愛語」の三つをスローガンに運営しています。入所者の自主性を尊重し、お年寄りが快適な日常生活を営めるよう心掛けています。たくさんの方々に遊びにきてほしい」と話しています。

「東光苑ってどんなことをしているのだろう」という疑問にお答えして、四月十五日の出来事を紹介します。

6:00

おばあちゃん おはよう
夜勤の介護員が各部屋を回り「おはよう」とあいさつ。寝たきりの方の顔を拭いてあげます。



7:00

おいしい朝食
ほとんどの方がホールで食事をします。「食事はとてもおいしいです」とおじいさん。



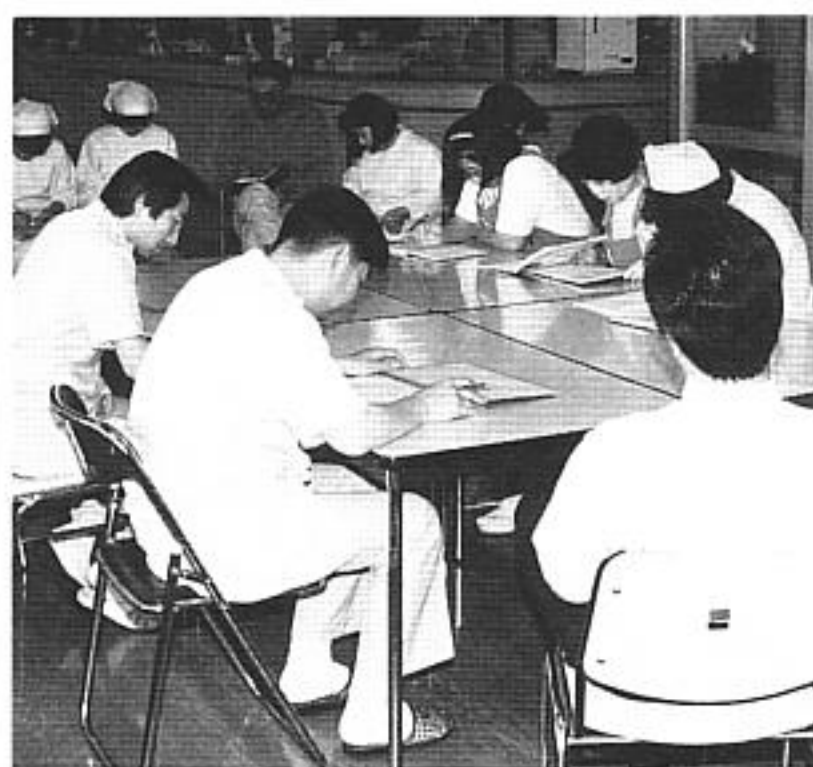
8:00

いこいのひといき
介護員のいこいのひととき。食事をしながら、楽しい会話が弾みます。



8:45

ミーティング
介護員の引き継ぎを兼ねた打ち合わせ会。夜勤の状況や、今日の日程を話し合います。



10:00

厨房は大忙し
厨房は昼食の準備で大忙し。ちなみに今日の昼食は、筍ごはん、肉じゃが。



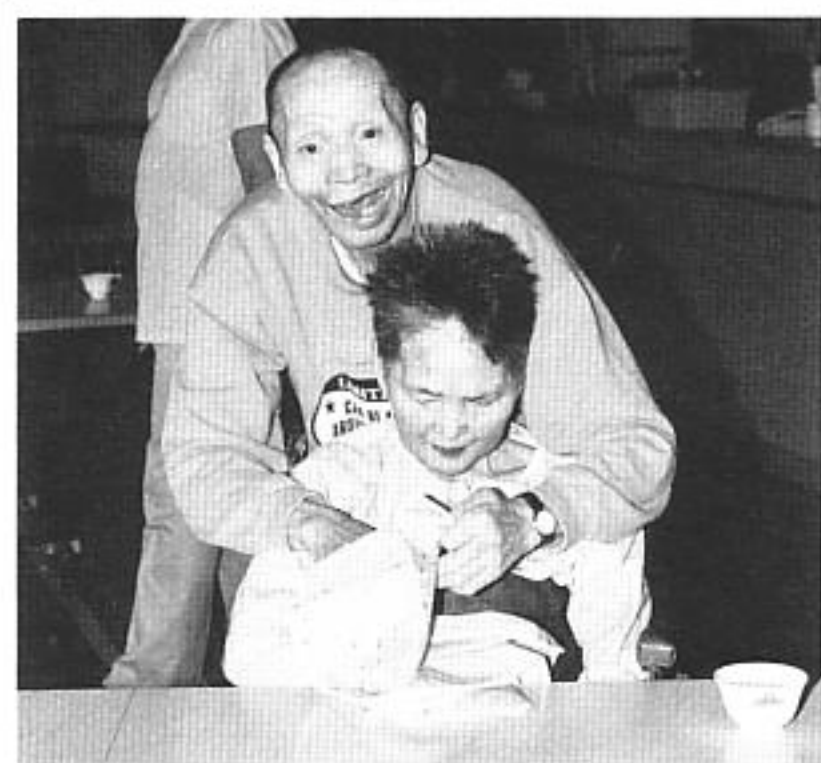
11:00

管理業務は事務室で
東光苑の管理業務は事務室で行われます。入居者の状況把握や職員の管理などを行っています。



12:00

おれも手伝うぞ
食事の準備には、入居者も手伝います。エプロンかけには「おれも手伝うぞ」とおじいさん。



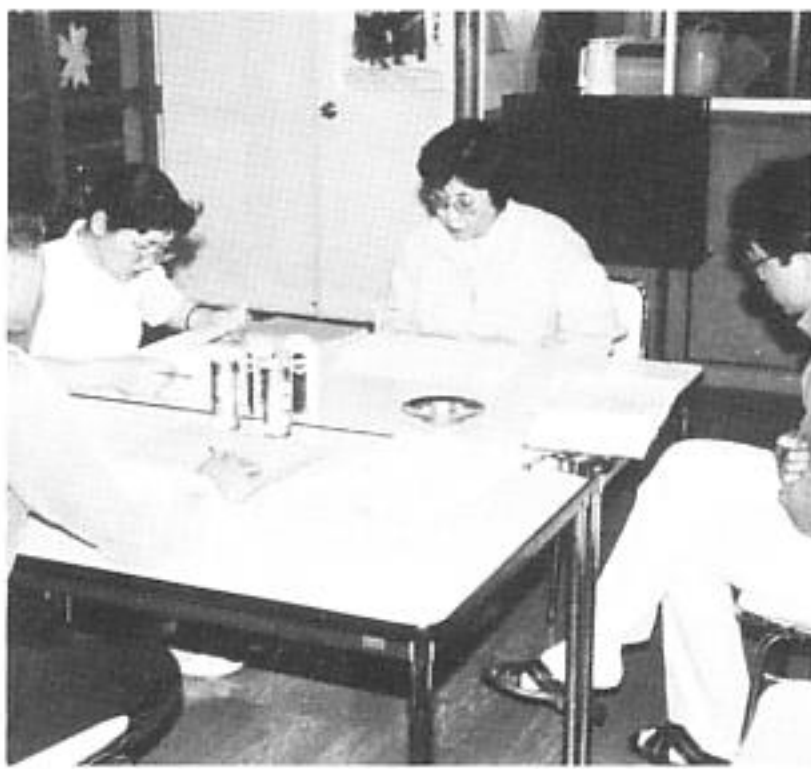
密着取材!

17:00



日勤から夜勤へ
生活指導員の指導のもと、日勤から夜勤への引き継ぎが行われます。

18:00



花見は5月12日
五月の花見の打ち合わせが実行委員四人で行われました。十二日(水)に決定。

19:00



おむつ交換
夜勤の介護員二人でおむつ交換。一昼夜八回をめやすに行われています。

20:00



おばあさんくすりだよ
「おばあさんくすりだよ」と、看護婦の指示どおりに薬を配ります。

21:00



おやすみなさい
消灯の時間。各部屋を回り「おやすみなさい」と一言。静かな夜を迎えます。

13:00



楽しい散歩
食事の後は、入居者どうしで散歩を楽しみます。カメラをむけると思わずニッコリ。

14:00



何回聞いてもあぎねな
雄勝町の方のワンマンショーが行われました。「何回聞いてもあぎねな」と満足そうでした。

15:00



気分なんとだ
看護婦が各部屋を回り、血圧測定。「気分なんとだ」と看護婦が聞くとニッコリ笑うおばあさん。

16:00



洗濯は乾燥機を利用
洗濯機は一日3回10時間のフル稼働。大きな乾燥機からきれいになった洗濯物が取り出されます。



東京ドームで思いっきりプレー

「一生の思い出です」

「東京ドームで野球をしよう」という夢のような話が、ポパイスポーツクラブ（遠藤吉喜部長）の提案で実現されました。この話は同クラブが昨年、社会人野球大会で優勝した時の祝賀会で出され、今年に入ってから具体化されました。ポパイスポーツクラブの呼びかけに町内の野球好きの若者有志が「ブルード」というチームを結成。出稼ぎにいつている人や東京在住の人にも応援に駆けつけ、三月二十七日に「東京ドーム野球大会」が行われました。

参加者は「実際に入ってみるとグラウンドの広さ、スタンドの大きさ、人工芝のきれいな緑色に感激、そして何よりも、プロ野球の選手がプレーしているところで野球ができた」というのが夢のようです。一生の思い出です」と感動していました。

借り上げ時間は二時間二十分。借り上げ料は五十七万六千八百円、一分当たり四千二百二十円になります。このため参加者は「試合の結果」よりも限られた時間内で「いかに楽しむか」を合言葉に東京ドームで試合をしていました。



◀控え室で打合わせ



◀ナイスバッティング



◀さすがにドームは広い



◀二塁へのスライディング



◀円陣を組んで気合いを入れる



試合は13対3でポパイの圧勝、でも参加者は全員満足顔

「魅力ある東由利」のPRを

地域活性化化学習会

四月十三日に有鄰館で地域活性化化学習会が行われ、東北工業大学の山田晴義教授が「地域づくりと活性化拠点について」と題して講話しました。

当日は、午前中に第二回の五十人委員会が行われ、活性化拠点施設計画の討論が行われました。午後からの学習会には町、議会、五十人委員会などの関係者約八十人が出席して行われました。

講演要旨は次のとおりです。

生産農業から 環境農業へ

東由利町のような農村の活性化を考える場合「生産農業」と「環境農業」の二つを考えなければなりません。

生産農業とは現在この町で行われているように、米プラス畜産といった「重点作物」を中心に花や野菜などの「戦略作物」に取り組み、それらを加工、

観光といった「関連産業」に結び付ける農業を言います。東由利町での生産農業は町とJAなどの協力によりおむね順調に行われていると思われます。

一方環境農業とはその地域独自の資源、知恵、技術、文化などを自分たちの生活の中に生かし、それらを外に対して発信することにより、交流が生まれ、新たな価値観を見いだす農業を言います。

どの町でも、すぐ金になる生産農業へ流れがちで、古くからの伝統を生かした環境農業を見逃しがちなのです。

生産農業と環境農業をうまく組み合わせ、その情報を適確に発信することにより、金と名声のために生きてきた時代の価値観とは違った価値観を求めようになります。農村の活性化のためにはそうした「生活提言」が重要であります。

四つのポイントで 活性化を推進

具体的にどうすれば良いのか。ポイントを四つに絞って考えてみたいと思います。

まず第一に生産農業である農林業をしつかりとしたものにする。その上で農業範囲を拡大して第二次、第三次産業へと結び付けることです。具体的には由利牛のレストランなどが上げられます。

第二に古くからの知恵や技術を持った人々を掘り起こすことです。農村には本当の技術を持った人が数多くおり、それらを引き出すことにより、魅力的な農村生活を都市に発信することができます。また新たな発見をすることにより、生きがいを感じられる場の確保につながります。具体的には特産品を販売できるバザールなどが上げられます。

す。

第三に現代的な要素を考えて、若者がここに住んで楽しく生活できる環境づくりです。ただ若者が本当に望むものを農村独自で整備することはとても難しいことなので、現代風な要素を取り入れる事を考えることが大切です。具体的には、ショッピングや軽食の出来る施設の整備、シンボルタワーやホール、ギャラリー、資料室などを整備した建物が上げられます。

第四に町の核となり、情報をキャッチできる試験、研究機関が必要です。このためには、町内の名所などの環境資源を整備し、これらをエコミュージアムゾーン（環境、文化、博物館と訳され、地域に存在している環境や文化そのものから学ぶもの）として関連づけて考えることが必要です。またこれを広域エコミュージアムゾーンとして近隣町村にも広げ、広域的に考えるべきであり、東由利町の活性化拠点施設はその核となる施設として考える事が大切です。

今まで述べたことは町活性化のほんの一部にすぎません。言うことは簡単ですが、いざ行動するとなると大変なことです。先進地でも七年から十年の歳月をかけて完成しています。じっくり時間をかけて、魅力ある東由利をPRできるような施設整備を考えて行かなければならないと思います。



氏 晴 義 山 田

昭和十六年三月六日

名古屋生まれ

昭和四十三年三月

明治大学大学院工学研究科修士課程修了

昭和四十三年四月

東北工業大学専任講師

平成元年三月

工学博士

平成二年四月

東北工業大学教授

平成二年度

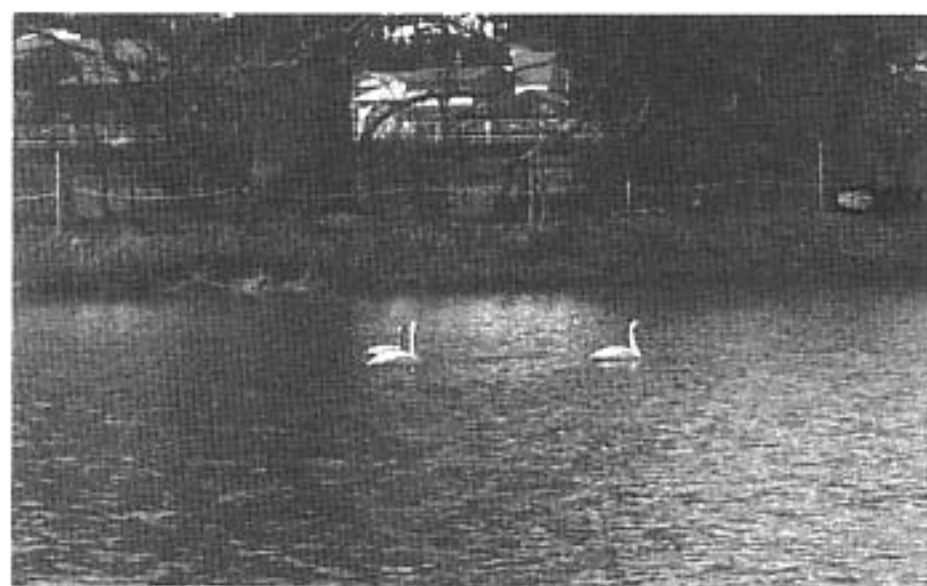
町主催「山村に生きるシンポジウム」パネラー

平成三年度

町農業振興大綱策定アドバイザー

白鳥の訪問に 大喜びの子供たち

「白鳥」と言えば十文字町の皆瀬川を思い出しますが、晴れ渡った四月十一日、老方の前堤に三羽の白鳥が飛来しました。午前九時すぎに着水した三羽の白鳥は、見物人が近づくと反対側の岸に向かい、なかなか近づいてくれません。それでも昭和六十一年以来の出来事とあって近所の人達はカメラやビデオをもって来たり、パンをちぎって投げ込んだり思い思いに楽しんでいました。特に子供達は近くで見ると白鳥に大喜びで、歓声を上げる風景も見られました。この白鳥たちは夕方五時すぎには北の空をめざし飛び立っていききました。



3羽の白鳥が飛来

国道398号



国道398誕生

主要地方道山崎鴻屋十文字線が、県道の六角形標識から、逆三角形の青地に白文字もクッキリと国道398の道路標識に衣変えしました。

これは昨年三月二十五日、国の道路審議会が発表、平成五年四月一日から国道に昇格になったもので、沿線住民の悲願が現実のものとなったものです。

この国道398号は、宮城県石巻市を起点に、湯沢市、羽後町を経由して本町と結ばれたもので、今後観光、産業の開発を進めていくためには必要不可欠なものであり、生活環境のアップなど大きな期待が寄せられています。

期待を胸に入団式

スポーツを通して健全な心身の育成をーと活動を行っているスポーツ少年団の合同入団式が四月二十四日、町内の小学生約二百三十人が出席して行われました。

町内には八塩、高瀬、大琴の三つのスポーツ少年団と小中学生混合編成のスキースポーツ少年団があり、それぞれ野球、卓球、バスケットボール、スキーを通して活動をしています。また指導者には保護者や学校の先生、地域の経験者などがあたっています。未来のスポーツ選手の可能性を秘めた子供たちが、胸一杯に期待を膨らませて、入団式に臨んでいました。



4月24日に行われた入団式



東由利
トピックス

育林に活路を開こう 懇話会発足して一年

町の育林活動に活路を開こうと東由利町林業懇話会（会長佐藤恒悦氏、会員二十四名）が発足して一年を経過、この間同懇話会では町と町議会に「林業振興要望」を提出、十二月議会定例会で採択されるなど活発な情報交換を行っています。

なお、平成五年度の活動計画は①森林、林業にかかわる情報収集と交換を行い、町林業振興に寄与②林業の活性化対策の検討と提言③青少年むけ森林、林業者育成④林業研修、座談会開催とし、人間生活の基底を支える産業としての役割をもつ林業を熱っぽく語りかけています。

青年会活動がピンチ？

平成五年度の町連合青年会定期総会が四月二十日、有鄰館で行われました。この中で、会員の中から「会員の減少により思うような活動ができな

い。単位青年会の在り方を考え直すべきではないか」との意見がだされ、青年会活動の問題点が話し合われました。総会では、会員から「連青を単青の集まりから、町全体で一つの青年会にしたらどうか」との意見がだされました。これに対して「単青あつての連青であり、町で一つにするのは活動の衰退につながる」などの反対意見がだされ、活発な意見交換となりました。この問題には「若者流出による会員の減少」という背景があり、青年会では今後役員会などで議論して、結論をだすことにしています。



有鄰館で行われた総会



県知事賞を受賞した佐藤さん

佐藤さんに 神奈川県知事賞

神奈川県の石井建設株式会社に出演に行かれた、佐藤邦雄さん（下小屋・五十一歳）が神奈川県知事賞を受賞しました。

佐藤さんは石井建設に出稼ぎに行って十六年のベテラン。受賞に当たって佐藤さんは「知事賞を受賞できたのもみなさんのおかげであり、大変感謝している。今後も体力の続く限り頑張っていきたい」と話しています。

技組 標準賃金 建設組 一万六千円に

町建設技能組合（阿部悟組合長）の総会が三月二十六日、大蔵館で組合員など四十人が出席して行われました。

この中で今年度は「標準賃金」をこれまでの一万五千円から千円アップして一万六千円とする事を決めました。

新 おまわりさん 紹介 い 獣医さん

定期入事異動で本町の東由利町に勤務となった二人の警察官と獣医師を紹介します。老方の駐在所には三浦善哉



三浦巡査(左)と柏谷巡査(右)

巡査が本部高速隊から、宿の駐在所には柏谷和之巡査が角館署からそれぞれ赴任しました。

二人とも東由利町は初めてという事で「よろしく願います」と話しています。

また東由利駐在の獣医師に高橋修二さんが赴任しました。

高橋獣医



高橋さんは十一年前にも本町に勤務した経験

があり、ほとんどの自治会を把握しており顔なじみの人も多いようです。「東由利は丸い形をした町なので活動しやすい町です。人柄の良さも印象的です」と話しています。

HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS



町の宝もの

12

下村氏の墓碑

写真は、蔵の蔵立寺裏の境内に建立されている下村氏（小笠原蔵人奥長のことで通称下村彦次郎、古文書には両方の名が出てきます）の墓碑で、「本



願院殿月山心光大居士、文禄二癸巳五月三日・小笠原氏」と刻まれています。下村氏は信濃から下ってきた由利十二頭の旗頭の一人で、小笠原の姓を名乗り、ふだん生活する館は内館といわれた今の岩館にあつて、蔵・法内・宿地区一帯を治めていたと思われます。秀吉から天正十八年（一五九〇）下村彦次郎に一七五石を与えた朱印状が現存しています。この後の文禄二年（一五九三）死亡。今年は没後四百年です。

何をくづしているの？

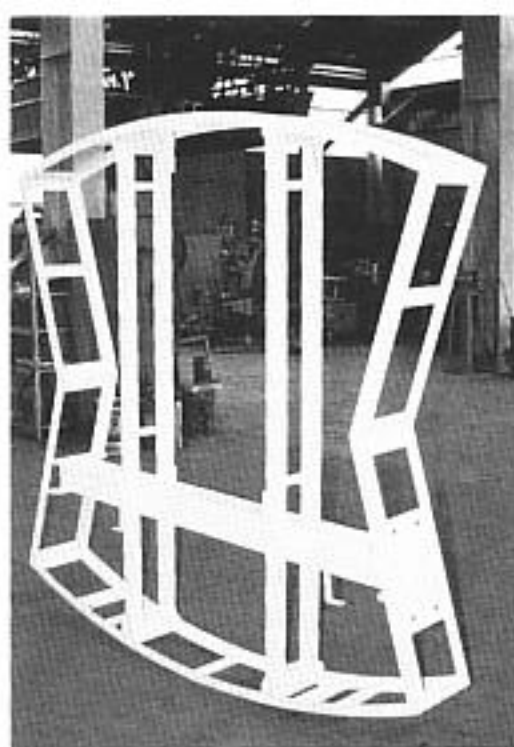
八嶋製作所では、主にガソリンスタンド関係の看板の骨組みを製作しています。工場の前にある「交通安全」の看板は同製作所で建てたもので近所の人達からは「明るくなって良かった」と好評を得ています。

また、各自治会のゴミ処理ステーションのゴミ箱なども製作しており、幅広く事業を進めています。「3Kと呼ばれる会社かも知れない

看板の骨組みを製作

八嶋製作所（黒瀬）

が、やり甲斐はある。若い従業員が増えてくれれば……」と同製作所では話しています。



完成した看板の骨組み

愛育班から

おかあさん登場

小松千鶴子さん（下小路）



愛育班に参加して最初の行事が「血圧の計り方」の勉強会。愛育班の知識が全然なく、手探りの状態からの活動も、大分なれてきたように思います。

町外への視察研修などは普段は見れない施設なども見学できます。また生活に直接関連のある「子供の育て方」などの講習会は、とても勉強になりました。

一年間活動して感じることは、今は、職場などに勤めている婦人が多くなり、自分の仕事を持つている方がほとんどのため、活動が思うようにいかない場合の対応です。地域の活動、学校の活動など忙しい人が多く、愛育班活動が思うようにいかない時もあります。健康の大切さは理解しているものの、日々の忙しさにおわれ、思うように活動できないという現実が、今後考えて行かなければならない課題ではないかと思っています。

山火事を防止しよう

これからの季節は、山菜採りやピクニックなどで山に行く機会が多くなります。山火事や遭難が各地で多くなる傾向にありますので、山に入る時は次のことに心掛けましょう

- 一、「たき火」は絶対しないようにしましょう。
- 二、「たばこ」を捨てないようにしましょう
- 三、行き先を家族に知らせてから出掛けましょう
- 四、「ゴミ」は必ず持ち帰りましょう
- 五、「危険箇所」には絶対入らないようにしましょう

日曜祭日の診療は 休日応急診療所へ

日曜日や祭日に、病気などで医師の診察を受けなければならないときは「休日応急診療所」を利用してください。

診療時間 午前十時から午後四時まで

場所 本荘由利医師会病院
(旧温泉病院)

(☎24-3917)

診療科目 内科・小児科

※保険証（老人・福祉医療受給者証も）を持参してください。



若い力で 明日の東由利に活力を

館西・菊 地 正 子さん

「のんびりしている東由利は私に合うのかな」と話す菊地正子さん（25歳）は町内で最年少の理容師。平成3年に東京からUターンしてきた彼女の素顔に迫ります。

いきいき、クローズアップ



『この仕事をしていて
良かった』

昭和四十二年にお母さんのヨシさんが理髪店を開業。このような環境の中で育ったこともあり「自然に理容の世界に入っていた」と、正子さんは当時の事を話してくれました。

秋田の専門学校卒業と同時に「一回は都会に出てみたい」と東京での修業を決意。昭和六十二年には待望の「理容師免許」を取得しました。「ほかの仕事がよく見えて、転職したいと思ったこともあり」と都会での厳しい修業時代を振り返りながらも「いろいろな人と知り会えるし、店に友達が来てくれた時にはうれしくて。この仕事

をしていて良かったと思います」とニコリ。

平成三年にUターンを決意し、現在自宅で仕事に励んでいます。「Uターンして来たところは暇を持て余していましたが、今ではこの暮らしが自分の性にピッタリのような気がします。でも、もう少し町内にも遊ぶところがほしいな」と、最近の心境を話しています。

同じ仕事をしているお母さんは「都会で修業して来たことを、フルに生かせるかなと思うと、Uターンさせて良かったかなと考えることもあります。でも肩をならべて仕事をしているときは、とてもうれしい」と話しています。



仕事の時には真剣な表情

ドライブでストレス解消

「家の中で仕事をしているので、休みの日はパアッと出掛けています。ドライブが好きなので、一日に一回は自車を運転することになっています」と話す正子さん。ストレス解消にもなっているとか。理容組合では月に一日の日曜日の休日を二日にする事を検討中のようにです。「休みが増えたら、高速道路を運転して、遠くの温泉にでも行ってみたいな」とも話しています。

楽しい青年会に

『どんどん参加してほしいな』

青年会活動にも積極的に参加しており、現在、連合青年会の役員を務めています。「いろいろな人と触れ合えるし、参加してみても結構楽しい」と青年会の印象を話す一方「参加してみるといつも同じ人ばかり。ほかの人もどんどん参加してほしいな」と本音もチラリ。また仕事の都合上「月曜日が定休日なので、日曜日中心に事業が組まれると、お母さんに迷惑がかかる」と、仕事と地域活動との両立の難しさを話していました。

最近の青年会活動は「会員が減少しているようにいかな」と役員の一人在話していましたが、やる気のある女性がいることは心強い事だと思えます。まだ参加したことのない方、一度参加してみたいかがですか。

寺田・佐藤正弥くん

(H・3・2・1生まれ)

企志さんと淳子さん
の長男わが家の
アイトル

「おもちゃで遊ぶより、外に出るの水遊びや、畑に入って土いじりをするのが好きみたいです。雪が消えてからは外に出たがって……」とおばあさんのソノさん。

東由利——「ニュースダイジェスト」②

あめの日・あめの時

一般会計当初予算は
現在の5分の1

目玉事業は朋楽荘建設

昭和四十九年度の一般会計当初予算額は六億三千九百八十四万四千円。今年度の予算額が三十三億四千八百七十二万四千円ですから、現在の五分の一の額で事業が行われていました。

当時の目玉事業は老人いこいの家「朋楽荘」の建設。当初予

算では建築費として四千八百五十九万九千円で計上されています。

一般会計当初予算は昭和五十七年度に十億円台に、昭和五十七年度に二十億円台になり、平成三年度には三十億円台になっています。

ちなみに、日経連の初任給調査によると昭和四十九年度の高卒事務系の初任給は六万七千八百六十三円、平成四年度は十五万六千七百七円になっています。

品目	金額	増減
総計	33,482,724,000	(14.1%)
民生費	9,823,340,000	(14.6%)
衛生費	4,123,220,000	(6.5%)
土木費	11,853,510,000	(18.5%)
教育費	7,612,710,000	(11.9%)
公債費	2,769,954,000	

東由利の文芸

せせらぎ句会(四月句会)

- ◆また明日あそぶ約束夕雲雀
- ◆野の広さ一人じめして蓬摘む
- ◆山晴れて雲雀住みつく休耕田
- ◆出羽の山こだまとあそぶ揚雲雀
- ◆老の肩寄せて日和の蓬摘む

- 阿部 澄子(蔵)
- 阿部 澄子(蔵)
- 工藤 武雄(山崎)
- 佐藤 清志(湯出野)
- 遠藤トミ子(小倉)

消防署に勤務している彼の仕事は、火災の時の出動はもちろん事業所の消化器の点検、ロープを上ったり、渡ったりの訓練等です。「勤務して三年目になります。夜勤も苦にならないし、毎日が充実しています」と

畠山 章さん(22歳)

新町・本荘地区組合消防署勤務



仕事に対する意気込みを話してくれました。
またスポーツ好きの彼は冬はスキー、夏はウインドサーフィンをしています。「ウインドサーフィンは、まだボードに乗れないので今年こそは乗れるようになりたい」と心はずすに夏の海に動いているようでした。

「国道一〇七号に街灯が少なくて自動車を運転していると不便です。明るくすれば町のイメージも変わると思います」と町に対して要望を一言。
次は彼の同級生、新町の佐々木利博君にリレーします。

- ◆手みやげの摘みし蓬のくくり餅
- ◆古手箆今年も蓬摘みにけり
- ◆窓よぎる雲雀の影の早き事
- ◆土の香も蓬と共に籠の中
- ◆雲雀野にはいらす畦に腰おろす
- ◆風あふれ辛夷樹上の花の舞
- ◆登校の子等を見おろす揚雲雀
- ◆揚雲雀大地のいぶき吸い上ぐる
- ◆揚雲雀吸いこまれゆく空蒼し
- ◆雲雀野や農捨て切れず鎌を研ぐ

- 小野 貞子(蔵新田)
- 小松順之助(中通)
- 小松 徳蔵(湯出野)
- 小笠原トミ(蔵新田)
- 小松 メサ(下小路)
- 鈴木 要(沼)
- 佐藤 貞(蔵)
- 小笠原亮子(蔵新田)
- 菊地 常作(湯出野)
- 高橋ヒデ子(横渡)

笑顔の子供たち



おのほさん

わたしは、お花がとても好きなので、お花をいっぱいそだててみたいです。そしておおきなお花ばたけができたらいなとおもいます。お花がたくさんいたら、ちょうちゅうがいっぱいとんできて、たのしいだろうなあとおもいます。

そして、おはなをいろいろな人にみてもらいたいです。だからおはなやさんになりたいです。やさしいおはなやさんになれるようがんばりたいです。



はせやまみかさん

わたしはどうぶつのおいしやさんになりたいです。ほいくえんの年ちゅうぐみのときはかんだふきんになりたいたとおもってました。年ちゅうぐみのときはほいくえんの先生になりたいとおもってました。でもどうぶつがけがをしたり、いじめられたり、かわいがられずにすていそうだから、わたしはどうぶ

未来の夢は？（高瀬小2年生）



こまつしげやすくん

つのおいしやさんになりたいとおもっています。

ぼくのうちでは、りんごとおこめとお花とメロンとやさいをつくっています。

うちの人たちが、がんばっています。

ぼくもおとなになったらきれいなお花をつくらしてみんなにあげたいとおもいます。

それでみんなにあげたい花は、チュウリップやかすみそうやひめりんごの花をあげたいとおもいます。

ハイスクール○日記

入学しての抱負



下郷分校1年 小松ひとみさん

まず第一に、授業一つ一つに集中し、遅れを取らないようにしたい。今までの義務教育とは違って、自分の遅れは自分で取り戻していかなければならないと思う。だから、授業でわからない所があったら最後までとことん追究していきたい。

第二に、部活のバトミントンの基礎を覚え、トレーニングを全部こなせるようにしたい。そして、早く先輩達のようにラケットを持てるようにしたい。

今のトレーニングは少しきついですが、このトレーニングに耐え、先輩達の練習ぶりを目に焼き付けようと思えば、きっとすばらしい選手になる事ができると思う。これから部活で青春の汗を思う存分流したい。

第三に、友達を大切にしていきたい。今年の入学者はここ何年かのうちでは多い方だが、他校に比べれば少ないので、それだけ友達の存在を身近に感じる事ができると思う。だからこそ、他校では得る事のできない深い友情をみんなと交していきたい。最後に、誰にも負けないくらい一生懸命毎日を通していきたい。

永慶保育園



右からあやちゃん、みさきちゃん、としやくん、ひでたかくん、てるみちゃん、まきこちゃん

▼いとう みさき (蔵)

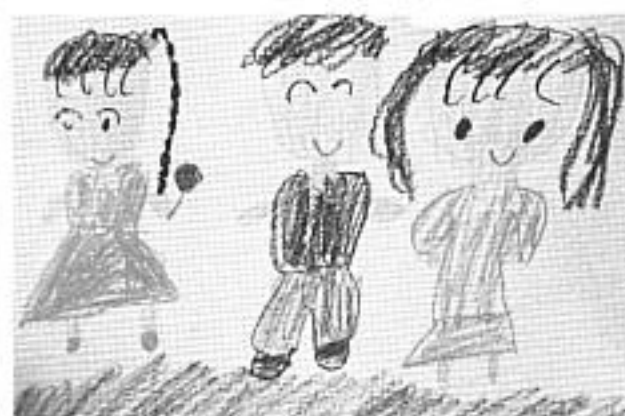


▲こまつまきこ (蔵)

ぼくの絵 わたしの絵

すきなもの
すきなひと

さとうひでたか (新町)



おおひなたてるみ (宮ノ前)

えんどうあや (野田)



えんどうとしや (横渡)

5月→データ東由利

〈3 / 1 ~ 3 / 31〉

人口

()は前月比

■男	2,742人(△16)
■女	2,876人(△27)
■計	5,618人(△43)
■世帯数	1,418戸(△4)

()は1月からの累計

●出生	2人(4)	●死亡	7人(20)
●転入	10人(19)	●転出	48人(59)

■火災出動	0件(0)
■救急出動	9件(27)
■交通事故	0件(1)
●死者	0件(0)
●傷者	0人(1)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	1人(2)

5月の行事

2~16	八塩いこいの森観桜会
8~9	黄桜まつり
13	ことぶき大学開校式 (10時~朋楽荘)
31	町民登山

税金の全期前納は5月15日までです。

役場は
毎週土曜日が休みです。

東由利

郷土の野草

No. 99



タネツチバナ

(アブラナ科)

文・写真 小松忠正

タガラシともいい、日本全土、中国、朝鮮半島にも分布する二年草で、田、路傍、原野などへ行っても見られ、高さは20センチくらい。葉は羽状複葉で、上の小葉は大きく、下は小さくなります。花は白色の四弁花を下から順序に総状につけます。和名は「種漬花」で、農家で苗代作りをする前から花をつけるので、この花が咲く頃を種漬けの目安にしていたのでしょう。繁殖力が強く、始末に困る草ですが、花のころ全草を日干しにして利尿、整腸に用いるといわれています。

お誕生おめでとう

高橋文太ちゃん(3/21) 長男・横小路 かずえ

ごめい福をお祈りいたします

長谷山ハナさん(68・勝義・母)田代
佐藤 八郎さん(81・順治・父)高戸屋
鍛崎 初子さん(55・敏夫・妻)久保
荒尾イワエさん(86・富春・母)東光苑
木嶋 末吉さん(82・与一郎・父)袖山
小松 正法さん(34・正昭・長男)家ノ下
八嶋千代太郎さん(75・壽智雄・父)新沢

戸籍

の

窓口

(3/21~4/20届出)

私の好きな風景

水鳥



若林の沼で撮影しました。二羽の水鳥が仲良く泳いでいました。

(撮影・大沼孝昭さん、蔵新田)

ほっといきて

四月十八日に全町一斉に「ゴミ拾い」が行われました。朝があまり得意でない私は青年会といっしょに国道のゴミ拾いをしました。毎年の事ながら久保から板戸にかけての道路はゴミがいっぱい。十層も歩くとゴミ袋が一杯になるところもあります。この日回収されたゴミの量は二トントラック十四台分。ゴミ問題は全国的に問題になっていますが、結局は「個々のモラルの問題では」と感じました。ちよっとした心掛けが大切だと思います。

町社会福祉協議会に鍛崎敏夫さん(山崎)木島与一郎さん(袖山)小松正昭さん(家ノ下)からそれぞれ金一封のご芳志が届けられました。また、広報送付の謝礼として藤原武二さん(福井県在住)、上通出身、阿部喜一さん(大湊村在住・十二ノ前出身)から金一封が、小松一雄さん(山崎出身、東京都在住)から「陸軍航空の鎮魂」の本がそれぞれ届けられました。ありがとうございます。